

用行義塾の基礎的研究資料（その1）

The basic research information of YOYKOH-GIJYUKU,
the first elementary school in Fukuroi in the Meiji era ; vol.1

小栗 勝也*

Katsuya OGURI

1. はじめに

用行義塾についての今回の調査に関する筆者の問題意識と目的、及び調査から得られた成果については、本誌本巻に別に掲載する拙稿をご参照頂きたい。

用行義塾については『袋井市史 史料編四 近代現代』（以下、『市史・史料編』と略す）の「第二部 教育編」の冒頭に次の5つの史料が収録されている。

- ・一 用行義塾教則ならびに規則(明治五年六月二五日)〔袋井東小学校所蔵〕
- ・二 日誌並先生方御出席控(明治五年)〔国立史料館所蔵旧久津部村文書〕
- ・三 東脩教授料覚(明治五年八月)〔国立史料館所蔵旧久津部村文書〕
- ・四 出席教授優生姓名簿(明治五年七月)〔国立史料館所蔵旧久津部村文書〕
- ・五 飯米覚張(明治五年八月)〔国立史料館所蔵旧久津部村文書〕

これらの史料を、本稿では矢印の右側のように略記する。

- ・一 → 史料「一」
- ・二 → 史料「二」
- ・三 → 史料「三」
- ・四 → 史料「四」
- ・五 → 史料「五」

現在の所、この5つが用行義塾を知りうる一次史料の全てである。

上記の5つの史料から、用行義塾関係者の動向を一日ごとの探ることができるので、そこから得られた個人別の情報を、さらに一日単位でまとめる作業を行った。その作業を通して得られたものが、今回掲載する「基礎的研究資料」である。集計は、マイクロソフト社のエクセルを用いて行ったが、これならすべての情報を大きな1枚のシートの中に収めることができる。しかし、膨大な大きさになるので、本誌に掲載するにあたり、掲載可能な形に直す必要が生じた。また本誌の掲載には紙数の制限もある。

そこで、性質ごとに幾つかの表に分割することにし、掲載も「用行義塾の基礎的研究資料（その1）」から「同（その3）」までの3つの稿に分けて発表することにした。その一覧を下に示す。

「表1 用行義塾教員の出勤状況及び日別情報の一覧」
・・・本稿（その1）に収録

「表2 用行義塾塾生の出席状況及び日別情報の一覧
～特別の塾生・用務員」

「表3 用行義塾塾生の出席状況及び日別情報の一覧
～普通の塾生①」

・・・以上（その2）に収録。本誌次巻に掲載予定。

「表4 用行義塾塾生の出席状況及び日別情報の一覧
～普通の塾生②」

「表5 用行義塾塾生の出席状況集計」

「表6 用行義塾塾生の時間別出席状況」

・・・以上（その3）に収録。本誌次巻に掲載予定。

2. 掲載資料の解説と凡例

このうち、本稿で扱う「表1」について、以下、解説を記す。「表1」は、用行義塾の先生であったと思われる人物について分かる限りの情報を、1日単位でまとめたものである。先生については、史料「一」以外の4つの史料から各種の情報を得ることができる。これらの史料には「先生」と呼ばれていた人物が3人あった。岡田直、高田緑雲（彰一郎、省一郎）、国府田、がそれである。

岡田については、例えば史料「四」の明治5年7月27日以下の箇所に「岡田先生」の表記が幾つも散見される。また史料「★」では7月朔日の箇所に「掛川岡田様」とあり、彼が掛川の人間であることが分かる。そのため史料「★」の8月27日他の箇所にある「掛川先生」も岡田のことを指していると考えられる。9月20日以降は掛川から国府田が先生として塾に来ているが、この日以降は、掛

2014年2月28日受理

* 総合情報学部人間情報デザイン学科

川先生という表記はどこにも出てこなくなる。従って、9月20日以前に出てくる「掛川先生」はすべて岡田のことを指すと判断して良いと言える。また9月8日には「先生」の文字だけがあるが、前日に「掛川先生」があるので、この「先生」も岡田であると判定した。

さらに、史料「四」の7月朔日の箇所等に「岡田直」があり、他に岡田姓の人物は史料には出てこないの、岡田の名は「直」であると判定できる。史料「★」9月20日の箇所に出て来る「直様」も岡田のことになる。

このようにして、岡田先生であると思われる記録をまとめていくと、「表1」に示したような資料が出来上がる。

高田については『袋井市史・通史編』（以下、『市史』と略す）にある「高田省一郎（または彰一郎、緑雲と号したようである）」の記述を信用して、これに関係する名称はすべて高田のことであると考えて記録を蓄積した。しかし、「高田様」「緑雲先生」「彰一郎先生」という文字は史料に残ってはいるが、なぜか「省一郎」については、敬称抜きの記録しか見当たらない。この点がいかにも不自然であるという感覚が筆者にはある。もしかすると、「省一郎」は先生の高田とは別の塾生の可能性もゼロではないかもしれないという疑いを払拭できないのである。そこで、今回筆者が作成した「表1」では、「省一郎」の記録しか確認できない日については、注意が必要かもしれないという意味で、「先生の存在」の欄に敢えて▲の印を付しておいた。

国府田については、9月20日に初めて塾に来たことが分かる。『市史』が言うように、高田先生が東京へ行った後任として、掛川から招かれたものと推断される。

ただ、国府田について不思議なことは、記録の中に彼の子息のことが度々登場している点である。子息も塾に連れて来ているらしいのである。しかも、10月朔日の史料「★」の記録のように、子息だけが塾に来ていて、親である国府田については何も言及がない、というケースがしばしばある。この記録通りに解釈すると、国府田の子息は親とは別に掛川から来たり帰ったりを繰り返していることになる。とても幼い童子とは思えない。仮に童子であったとしたら、常に御付の者がいて掛川との往復の世話をしてもらっているとしか考えられない。1人でも十分に行動ができる年齢に達していたとしたら、彼だけが塾に来たという記録があっても不思議はない。しかし、幼児なのか、青年なのか、現状ではまったく分からない。

そもそも何故、子息が用行義塾に来ていたのであろうか。そうせざるをえない国府田の家庭の都合があったのか、それとも単に子どもに小旅行気分を味あわせるための興味本位のものであったのか、あるいは塾で学ばせるためであったのであろうか。学ぶためであったならば、出席者名簿の中に国府田の子息が登場してきてもよさそうである。国府田の子息は史料では常に国府田先生の「御子息」「御賢息」のように敬称付きで記されているから、学ぶために来ていたのなら、他の塾生の名が記されている出席者名簿の

所にそれらしき形で記されていてもよいはずである。しかし、そのような記述は見当たらない。おそらく、塾生として来ていたのではないのであろう。では、なぜ塾に来ていたのであろう。

ところで、史料の中には「国府田若先生」という文字が、11月15日と1月2日に2回登場する。「若」というのは、国府田の子息のことを指しているのか、国府田自身の名を指しているのか判断できないが、仮に子息のことだとすると「若先生」であるから、子息も先生であったのかもしれない。そうであったら童子という推測は消える。しかし仮に「若」が国府田自身の名を示すものであったとしたら、子息が童子である可能性は棄てられない。もし国府田の子息も先生であったと仮定したら、用行義塾の先生は3名ではなくて4名ということになる。或いは「若先生」は、子息に対する敬称に過ぎないという解釈もあり得る。この辺りの実態は皆目分からない。

なお3名の先生に関して史料から判る時期は、明治5年7月1日から明治6年1月2日までである。「表1」の期間はこれを反映している。この整理によって判明した各先生の出勤状況は、「表1」の最下段に「*先生の存在」としてまとめ、この情報は参考のため、「表2」以下の資料にも転記した。以下、「表1」の読み方に関する凡例を示した上で、資料そのものを掲出する。

【 凡 例 】

- ・元の史料では日付の数字はすべて漢数字であるが、最上段の日付欄はアラビア数字に直した。「晦日」などの表記は史料「四」に拠った。なお旧暦は1か月の日数が今日の暦とは異なっているので注意のこと。日付は表に示した通りで間違いない。但しグレゴリオ暦に直すと、1ヶ月強の違いが生じることも注意を要する。今回の日付は、当時の旧暦のままの日付を用いている。
- ・「十一字」のように「字」とあるのは時刻を示し、今日では「時」であるが、ここでは「字」のままに表記した。
- ・「方」は、「よ」と「り」を合わせた略字だが、ここでは「より」に直した。
- ・★は史料「二」、●は史料「三」、○は史料「四」、◆は史料「五」からの情報であることを示す。
- ・【 】は筆者による補足または注記であることを示す。
- ・□は判読できない文字を示す。史料に、元々そのような記号で記載があり、そのまま転記した。
- ・空白部分は情報が何もないことを示す。
- ・最下段「*先生の存在」の欄は、先生が存在していたか否かを筆者が判定した結果である。確実に存在したと確認できない場合はすべて「×」を付したが、単に史料がないだけで、不明の場合も含まれているので注意されたい。また同欄に、「高田先生▲」とあるのは、既述の通り、「省一郎」の文字しか確認できないことを示す。

表1 用行義塾教員の出勤状況及び日別情報の一覧

明治5年7月(旧暦)

備考		朔日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
種類								★休日						★休日	★休日	★休日	★休日					
①岡田先生	岡田直	○第六字出席 岡田直			○第六字出席 岡田直	○第十式字出席 岡田直																
	岡田		○第八字出席 岡田						○岡田	○第十二字出席 岡田								○第六字出席 岡田			○第十字出席 岡田	○第七字出席 岡田
	岡田様	★四字出席 掛川岡田様	★同同		★四字出席 掛川岡田様	★同同			★五字出席 岡田様	★岡田様								★六字出席 岡田様				
	岡田先生																					
	掛川先生																					
	直様																					
②高田先生	高田様			★八字出席 久津べ高田様			★六字出席 久津べ高田様					★八字出席 久津べ高田様	★同同様									
	緑雲先生																					
	省一郎			○第四字出席 省一郎			○省一郎					○第六字出席 省一郎	○第六字出席 省一郎								○第四字出席 省一郎	
	彰一郎																					
③国府田先生(親子)	コウ田先生																					
	国府田先生																					
	国府田若先生																					
	国府田先生の御賢息																					
	国府田先生御子息																					
	国府田御子息																					
*先生の存在	岡田先生	岡田先生	高田先生	岡田先生	岡田先生	高田先生	×	岡田先生	岡田先生	×	高田先生	高田先生	×	×	×	×	岡田先生	×	高田先生▲	岡田先生	岡田先生	

8月(旧暦)

備考 種類		22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	晦日	朔日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	
												○休業 ◆青天	◆青天	◆青天	◆青天	◆青天	◆青天	◆青天	◆青天	◆雨天	◆雨天	○休日 ◆雨天	◆青天
①岡田先生	岡田直																						
	岡田																						
	岡田様																						
	岡田先生						○第同 【同は不明】岡田先生	○第【第 は不明】 同先生		○岡田 先生								○岡田 先生	○同先 生		○岡田 先生		○岡田 先生
	掛川先生 「先生」																			○先生			
	直様																						
	②高田先生	高田様																					
緑雲先生																							
省一郎		○第七 字出席 省一郎			○第十 字出席 省一郎																		
彰一郎									○彰一 郎														
③国府田先生(親子)	コウ田先生																						
	国府田先生																						
	国府田若先生																						
	国府田先生の御賢息																						
	国府田先生御子息																						
	国府田御子息																						
	*先生の存在	高田先生▲	×	×	高田先生▲	×	岡田先生	岡田先生	高田先生	岡田先生	×	×	×	×	×	×	×	岡田先生	岡田先生	岡田先生	岡田先生	×	岡田先生

9月 (旧暦)

		13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	晦日	1日	2日	3日
備考 種類		◆青天夕 雨ニ□	○休日	○休日	○休日					○休日					○二十 六日欠				○「先生 なし」	★朔日		
	①岡田先生	岡田直											○岡田									
	岡田																					
	岡田様											○第八 字出席 岡田様										
	岡田先生	○同先 生				○岡田 先生	○同先 生	○岡田 先生	○同先 生										○岡田 先生			
	掛川先生															★掛川 先生御 出	★掛川 先生御 滞在	★掛川 先生御 滞在晩 方御帰				
	「先生」																					
	直様																					
②高田先生	高田様																					
	緑雲先生													★緑雲 先生								★緑雲 先生東 京へ御 出校
	省一郎																					
	彰一郎																					
	彰一郎 先生										○彰一 郎先生			○彰一 郎先生								
③国府田先生(親子)	コウ田先生																					
	国府田 先生																					
	国府田 若先生																					
	国府田 先生の 御賢息																					
	国府田 先生御 子息																					
	国府田 御子息																					
*先生の 存在	岡田先 生	×	×	×	岡田先 生	岡田先 生	岡田先 生	岡田先 生	×	高田先 生	岡田先 生	岡田先 生	高田先 生	×	岡田先 生	岡田先 生	岡田先 生【帰 宅】	「先生 なし」	×	高田先 生【東京 へ】	×	
															【この間、岡田は滞在中か】							

備考		4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日
種類	岡田直			○六日 欠			○九日 欠		○休日					○休憩 之事					○休日			
	岡田																					
	岡田様																					
	岡田先生																					
	掛川先生				★掛川 先生御三 席快、御遠 出不付マ リ延					★掛川 先生御出 候												
	「先生」					★先生 御逗留	★先生 御逗留 晩方御 帰				★先生 御逗留	★此日 晩御帰										
	直様																		★直様 去ル			
②高田先生	高田様																					
	緑雲先生																					
	省一郎																					
	彰一郎																					
③国府田先生(親子)	コウ田先生																		★掛川 コウ田 先生御 入来			
	国府田先生																					
	国府田若先生																					
	国府田先生の御賢息																					
	国府田先生御子息																					
	国府田御子息																					
*先生の存在	×	×	×	岡田先生	岡田先生	岡田先生【晩帰宅】	×	×	岡田	岡田	岡田先生【晩帰宅】	×	×	×	×	×	岡田先生去る、国府田先生	×	×	×	×	
				【岡田は体調不良も、この間、滞るか】						【岡田はこの間、滞るか】						【この間、国府田が滞在の可能性もゼロではない】						

10月(旧暦)

備考		25日	26日	27日	28日	29日	朔日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	
種類			○廿六日欠									○六日欠					○十一日欠						
①岡田先生	岡田直																						
	岡田																						
	岡田様																						
	岡田先生												★十一 字岡田 先生御 入来、方 御帰り		★九字 岡田先 生御入 来	★夕より 岡田先 生御帰				★岡田 先生御 入来	★岡田 先生御 帰		
	掛川先生																						
	「先生」 直様																						
②高田先生	高田様																						
	緑雲先生																						
	省一郎																						
	彰一郎																						
③国府田先生(親子)	コウ田先生																						
	国府田先生	★国府 田先生 御宅へ 御帰り	★国府 田先生 夜御出 席							★国府 田先生 御宅へ 帰					★国府 田先生 御宅へ 御帰		★国府 田先生 夜八 字入 御来					★国府 田先生 へ、来 御方 タル	
	国府田若先生																						
	国府田先生の御賢息							★国府 田先生 の御賢 息入 来															
	国府田先生御子息																					★国府 田先生 御子 息御宅 へ戻	
国府田御子息																							
*先生の存在	国府田先生【帰宅】	国府田先生【夜に 来た】	×	×	×	(国府田先生子息)	×	×	国府田先生【帰宅】	×	×	岡田先生	×	岡田先生、国府田先生は帰宅	岡田先生【帰宅】	国府田先生【夜に 来た】	×	×	岡田先生	岡田先生、(国府田先生子息)	国府田先生【夕方 再来】		
	→	← ← ← 【この間、国府田が滞在の可能性もゼロではない】 → → →												【岡田は1泊か】		←【この間、国府田が滞在の可能性もゼロではない】→							

11月(旧曆)

備考 種類		17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	晦日	朔日	2日	3日	4日	5日	6日	7日
		○【この両日は「当番」とだけあり、名は空白】																				
①岡田先生	岡田直																					
	岡田																					
	岡田様																					
	岡田先生																					
	掛川先生																					
	「先生」																					
	直様																					
②高田先生	高田様																					
	緑雲先生																					
	省一郎																					
	彰一郎																					
	彰一郎先生																					
③国府田先生(親子)	コウ田先生																					
	国府田先生				★国府田先生御宅へ御帰	★国府田先生学校へ御入来									★国府田先生御宅江御帰	★国府田先生学校へ御入来						
	国府田若先生																					
	国府田先生の御賢息																					
	国府田先生御子息																					
	国府田御子息										★国府田御子息御宅へ御帰											
	*先生の存在	×	×	×	国府田先生【帰宅】	国府田先生	×	×	×	(国府田先生子息帰宅)	×	×	×	×	国府田先生【帰宅】	国府田先生	×	×	×	×	×	×
		←【この間、国府田が滞在した可能性もゼロではない】→				←【この間、国府田が滞在した可能性もゼロではない】→										←【この間、国府田が滞在した可能性もゼロではない】…						

【注：明治5年11月は29日まで、12月は2日まで、ここまでが旧暦。翌日（旧暦の12月3日に相当）から新暦の明治6年1月1日に移行した。】

明治6年1月

備考		8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	【中略】	2日	
種類									○十五日、十六日欠						○廿三日欠								★袋井不残来
①岡田先生	岡田直																						
	岡田																						
	岡田様																						
	岡田先生		★岡田先生学校へ御入来	★岡田先生御宅へ御帰			★岡田先生御入来										★岡田先生学校へ御入来	★岡田先生掛川江御出申候					★岡田先生御光来晩方御帰
	掛川先生「先生」																						
	直様																						
②高田先生	高田様																						
	緑雲先生																						
	省一郎																						
	彰一郎																						
③国府田先生(親子)	コウ田先生																						
	国府田先生		★国府田先生日中後御宅へ御帰		★国府田先生学校へ御入来					★国府田先生朝掛川へ夕方学校へ御入来					★国府田先生掛川へ御出候							★国府田先生掛江御出候	
	国府田若先生								★国府田若先生学校へ御入来														★国府田若先生凡一日御宅へ御帰
	国府田先生の御賢息																						
	国府田先生御子息																						
	国府田御子息																						
*先生 の存在	×	岡田先生、国府田先生	岡田先生【帰宅】	国府田先生	×	岡田先生	×	国府田「若」先生	国府田先生【掛川へ】	×	×	×		国府田先生【掛川へ】	×	国府田先生	岡田先生	岡田先生【掛川へ】	×	国府田先生【掛川へ】		岡田先生、国府田先生「若」先生は一日帰宅	
	… →							←【この間も国府田が滞在していたら、「若」先生は子息と言えるが…】→					←【この間、国府田が滞在した可能性もゼロではない】→										

【「掛」は史料記述のママ】

以上